

早稲田大学 教育・総合科学学術院 教育会主催

身近なサイエンス・実験教室！

日 時：2015年7月30日（木）16:30～（90分）

場 所：6号館4階401教室・403化学実験室

中学校で2012年度から全面実施となった「新学習指導要領・生きる力」、その“理科”の筆頭“目標”には「自然の事物・現象に進んでかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う」とあります。

百聞は一見にしかず、百見は一行にしかず。観察や実験を通した“体感”は、まさに理科教育の原点ですが、設備・器具、廃液処理などに環境の適わぬ教育現場には、なかなか実施がむずかしいようです。

そこで、今回は、とくに教師を志す学生の皆さん、理科は苦手だけれど興味津々の皆さんに、実験を楽しんでいただく企画です。



— ぶろぐらむ —

Part1：セルシウスの温度計とボイル・シャルルの法則

“水の三態”から“セルシウス”の考えた温度計をつくり、“ボイル・シャルルの法則”を理解します。フラスコにとじこめた水蒸気には、いったい、どれほどの力があるのでしょうか！？

Part2：無電解めっきと合金

金属のイオン化傾向の差を利用して、電気のを借りずに銅板（Cu）に亜鉛（Zn）を“めっき”します。これをバーナーで加熱し、銅と亜鉛の“合金”（真ちゅう）をつくります。銅が銀に？銀が金に？

【事前予約方法】

参加希望者は、以下の要領でWaseda-net ポータルより申し込んで下さい。

■申込〆切：2015年7月28日（火）

■申込詳細：Waseda-net ポータルにログインし、左側メニューバーの〔システム・サービス〕→〔申請フォーム入力〕→「教育会主催身近なサイエンス・実験教室！（7月30日）」より申込。

※キャンセル、変更の場合は、上記受付期間内にWaseda-net ポータルより内容の変更（上書き）を行って下さい。

※申し込みは先着順とし、定員（52名）に達し次第の〆切とさせていただきます。

*教室に集合、概略の説明の後、実験室に移動します。白衣と安全眼鏡はお貸しいたします。
安全のため、ハイヒール・サンダル履き、はご遠慮ください。

問合せ先：早稲田大学教育・総合科学学術院教育会事務局

TEL:03-3208-8423 E-Mail: kyouikukai-office@list.waseda.jp